

・ 流れ灌頂と川市(5月中旬)

流れ灌頂(かんじょう)、もしくは流水灌頂(りゅうすいかんじょう)とは、もともとは河辺に棚を作り布を張って、ひしゃくを添えて通りかかった人に水をかけてもらい、水を流すことによって供養を行うという風習です。河原や近くの寺で僧侶が加持(かじ)を行い、参詣者は経木に戒名を書いてもらい川に流したりしていました。香川県内でも高松を中心に春日川をはじめ新川、御坊川など各地で行われ、郷東川、春日川のは川市でにぎわいます。昔は麦刈り前の人々の楽しみで、農具を買い求めることが中心でしたが、最近では植木市といった風情で初夏の風物詩となっています。

